

令和4年度 第3回安曇野市水環境審議会
次 第

日時：令和4年11月25日（金）午後2時00分～

場所：安曇野市役所 本庁舎3階 全員協議会室

1 開 会

2 あいさつ

3 報告事項

(1) 節水・涵養に係る事業者ヒアリング結果について

資料1

(2) 安曇野環境フェア2022「安曇野水めぐり」について

資料2

4 協議事項

(1) あづみの水結のロゴマークについて

資料3

5 その他

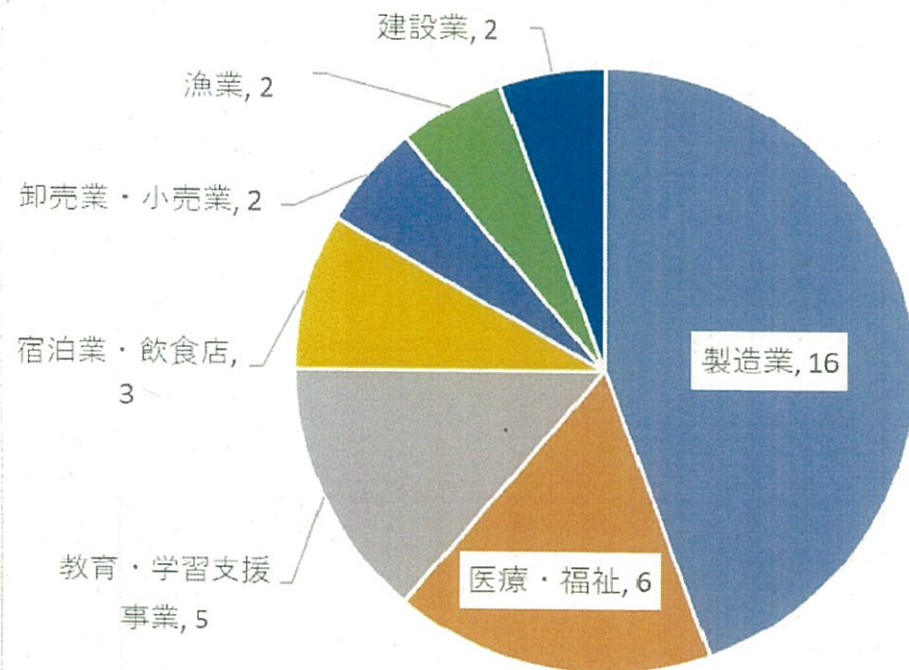
6 閉 会

節水・涵養に係る事業者ヒアリング結果について

1 ヒアリング実施事業者数 36者

2 ヒアリング事業者について

- ・ヒアリング対象事業者=60者
- ・ヒアリング実施事業者=36者（ヒアリング対象事業者の6割）
- ・ヒアリング実施事業者の業種



3 節水に係る取組内容と具体的な効果

No.	取組内容	具体的な効果
1	節水に係るチラシ・ポスターを掲示している	
2	全社員に対して節水の呼びかけを行っている	
3	水道に節水コマを取り付けている	
4	水道にプッシュ式セルフストップを採用している（流しっぱなしの防止）（写真1）	
5	水道にセンサー式自動手洗器を導入している（写真2）	
6	厨房内の蛇口に節水バルブを取り付けている（写真3）	
7	トイレ内の手洗い場に足踏み式水栓を導入している	
8	各部署ごとに目標値を設け、節水に取り組んでいる	
9	流量測定センサーを取り付け、水使用量の可視化を図っている	
10	メーターを定期的に確認し、漏水等がないかチェックしている	
11	水使用量の実績と目標について、施設内に掲示している	
12	バケツ等に作業用の水を貯める際にボールタップを使用している（写真4）	ボールタップを1つ使用することで、180L/時間の節水効果がある
13	入院患者の入浴について、シャワー浴への転換を図った	導入前と比較して、水使用量は前年比20%減となった
14	節水機能を備えたトイレ（便器）を導入している（「eco小」ボタンがついている）	
15	夜間は地下水の汲み上げポンプの電源を毎日切るようにしている	16.3m ³ /日の節水効果がある
16	ホースの先端にシャワーヘッドや開閉レバーを取り付けている（写真5）	50m ³ /日の節水効果がある
17	洗車用に、水循環を行うための設備を整備している	20m ³ /日の節水効果がある
18	コンクリートの材料となる砂利の洗浄に使用する水を循環させる設備を導入している（導入費用は4,000～5,000万円）	
19	井戸の汲み上げにインバーターを利用し、必要以上の圧力をかけず、水を汲み上げ過ぎないようにしている	
20	カサバー式除湿器（導入費用は数千円）を採用している	3,000m ³ /月の節水効果がある
21	成形機用冷却水循環装置に温度変化に応じて水を補充するシステムを導入	導入前と比較して、毎月2割程度節水できている
22	水道の蛇口に「エコタッチ」を取り付けている。（写真6）	

4 写真 (節水)

写真1



写真2



写真3



写真4



写真5



写真6



5 涵養に係る取組内容と具体的な効果

No.	取組内容	具体的な効果
1	敷地内に雨水浸透枡を設け、涵養を図っている。(写真7)	
2	雨水の地下浸透を目的に、敷地内にあえて未舗装部分を残している。	
3	敷地内にアスファルトではなく、部分的に人工芝を敷いている。	
4	敷地内に緑地部分を作っている。(写真8)	涵養量は9,521m ³ /年
5	雨水浸透を目的として、敷地内の舗装を透水性舗装にしている。(写真9)	
6	池はすべて素掘り(池の底は砂利)となっており、そこから涵養されている。	涵養量は105,169m ³ /年
7	工場内で使用した水を浸透枡に間接的に流し、涵養を図っている。	
8	敷地内に余剰水を地下に浸透させるための枡を作っている。(写真10)	
9	敷地内にビオトープを作っている。	

6 写真(涵養)

写真7



写真8



写真9

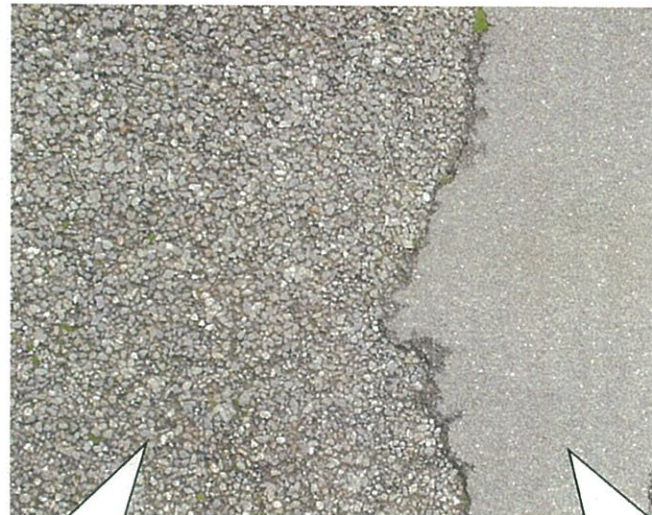


写真10



透水性舗装の部分

一般的な舗装の部分

安曇野環境フェア 2022「安曇野水めぐり」について

1 目的

安曇野環境フェア 2022 のテーマが「知ろう 守ろう あづみ野の水」であることから、市民の方々に安曇野の水（湧水）を通して、私たちの暮らしを支える「水」について知ってもらい地下水保全活動に繋げる。

2 実施日時

令和4年10月9日（日）午前12時45分～午後3時40分

3 参加人数

15名 大人：8名（男：女＝2名：6名）

小学生：7名（男：女＝4名：3名）

1年生…1名、3年生…1名、4年生…3名、5年生…2名

4 実施概要

[トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [くらし・手続き](#) > [こみ・環境・公園](#) > [安曇野エコプランnet](#) > [安曇野「水めぐり」【環境フェアイベント】](#)

安曇野「水めぐり」【環境フェアイベント】

記事ID:0095083 更新日:2022年9月21日更新

概要




私たちの暮らしに欠かせない地下水・湧水に関連するスポットをめぐる。安曇野わさび田湧水群、そこに生息する水生昆虫、湧水とわさび栽培にまつわる歴史について学びませんか。
参加特典は、安曇野産わさびです。

開催内容

日時:令和4年10月9日(日) 午前12時45分～午後3時40分
対象:小中学生優先(小学生は保護者同伴)※高校生以上も参加申し込み可
※高校生以上も参加申し込み可
費用:500円
定員:20人程度(先着順)

コース:穂高会館発 → 安曇野わさび田湧水群「憩いの池」 → 田淵行男記念館様の湧水地 →
(バス移動) (徒歩)
安曇野の里「水汲み場」 → わさび栽培農家 → 穂高会館着
(バス移動) (バス移動)

申し込み:9月22日(木)から30日(金)までに、環境課へ電話で申し込みください。
その他:イベント催行にあたり、コロナウイルス感染症対策もとり実施します。
市で、イベント保険に加入します。

このページに関するお問い合わせ先
環境課 環境推進係
長野県安曇野市豊科6000番地 本庁舎2階5番窓口
Tel:0263-71-2492 Fax:0263-72-3176
メールでのお問い合わせはこちら

安曇野「水めぐり」のしおり



日時：令和4年10月9日（日）
12時45分から

私たちの暮らしを支える地下水や湧水など「水」について知るため、環境省の「名水百選」に選定されている「安曇野わさび田湧水群」周辺の水に関連する場所をめぐり、水の大切さと身近な水生生物に触れてみましょう。

【行程表】

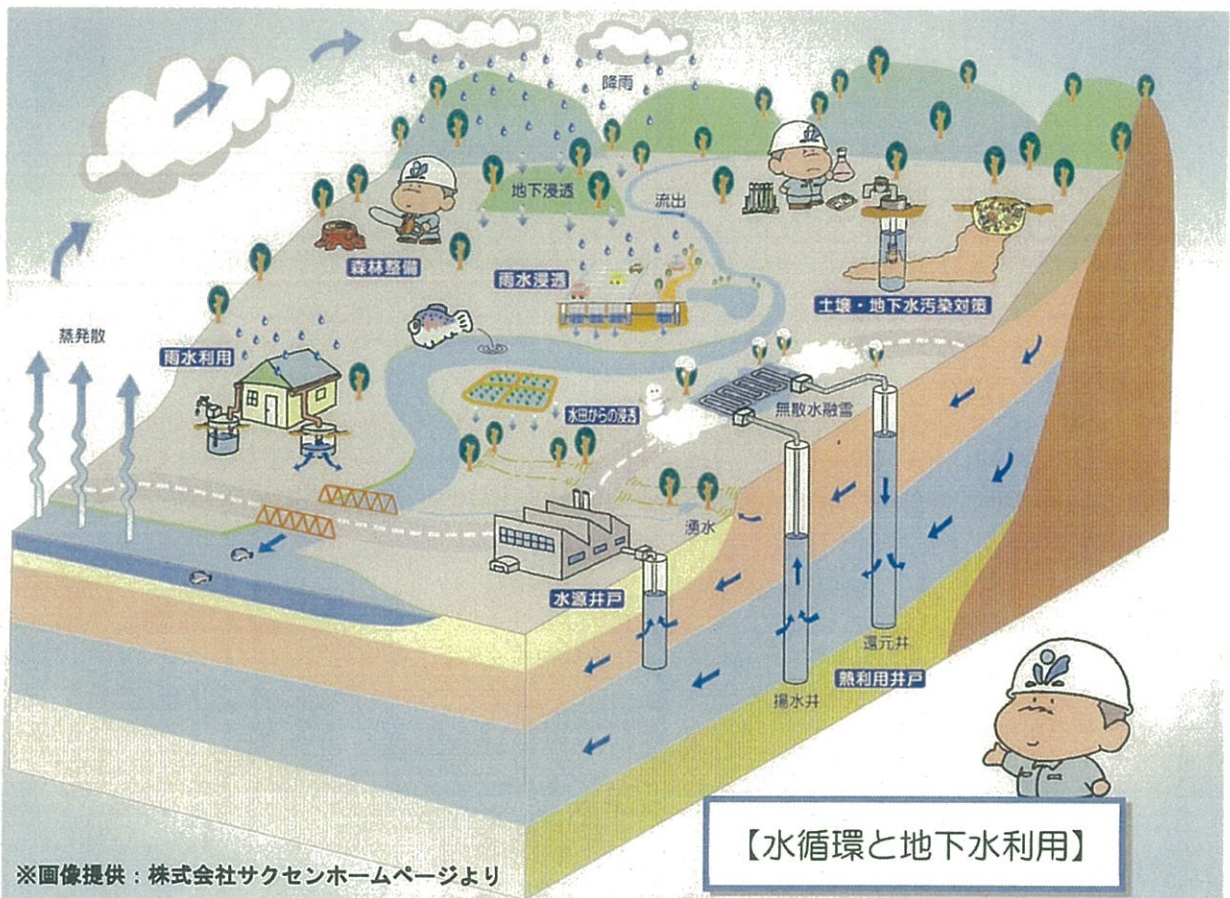
順路	時間	場所（説明者）	内容
出発	12時45分	穂高会館（駐車場）	参加者受付（12：45まで） バス乗車 資料配布
↓	移動時間 約15分（バス）		
①	13時00分～ 13時30分 (30分)	安曇野わさび田湧水群「憩いの池」 (説明者： 等々力秀和さん)	北アルプスからの雪解け水が伏流水となり湧き出しており、日量約70万トンもの湧水量を誇り、真夏でも水温が15度を超えない。環境省から「名水百選」に認定されている。
↓	移動時間 約10分（徒歩）		
②	13時40分～ 14時20分 (40分)	水生生物の観察 田淵行男記念館様の湧水池 (説明者：三郷昆虫クラブ世話人 那須野雅好さん)	私たちの暮らしを支える湧水・地下水。その大切な湧水に住む水中生物の観察をとおして、水の「透明さ」や「冷たさ」などを学び、実感できる観察会。
↓	移動時間 約5分（徒歩）		
③	14時25分～ 14時40分 (15分)	安曇野の里 「水汲み場」 (説明者： 等々力秀和さん)	豊富な地下水により誰でも利用可能な水くみ場の歴史的背景。 (トイレ休憩含む。) ※水汲み場南側駐車場からバスへ乗車
↓	移動時間 約5分（バス）		
④	14時45分～ 15時25分 (40分)	わさび栽培農家 (説明者： 白坂紘三郎さん)	わさび畑に入り収穫体験 湧水を活用したわさび栽培について 【わさびの収穫体験】
↓	移動時間 約15分（バス）		
到着	15時40分	穂高会館	解散、アンケート回収

【水資源に関する豆知識】

水は人間の生活や産業にとって欠かすことのできない最も重要な資源です。水は地球上に膨大な量が存在するものの、その97%は海水であり、更に残りの3%のうちおよそ70%は氷山、氷河であり、実際に通常利用可能な淡水は河川や湖、地下水など、全体の1%程に過ぎません。それらの湛水は主に雨水によるもので、元々降水量の少ない地域では、利用可能な水の量も少ないため、かんばつも発生しやすく、多くの人々が水不足に悩まされています。

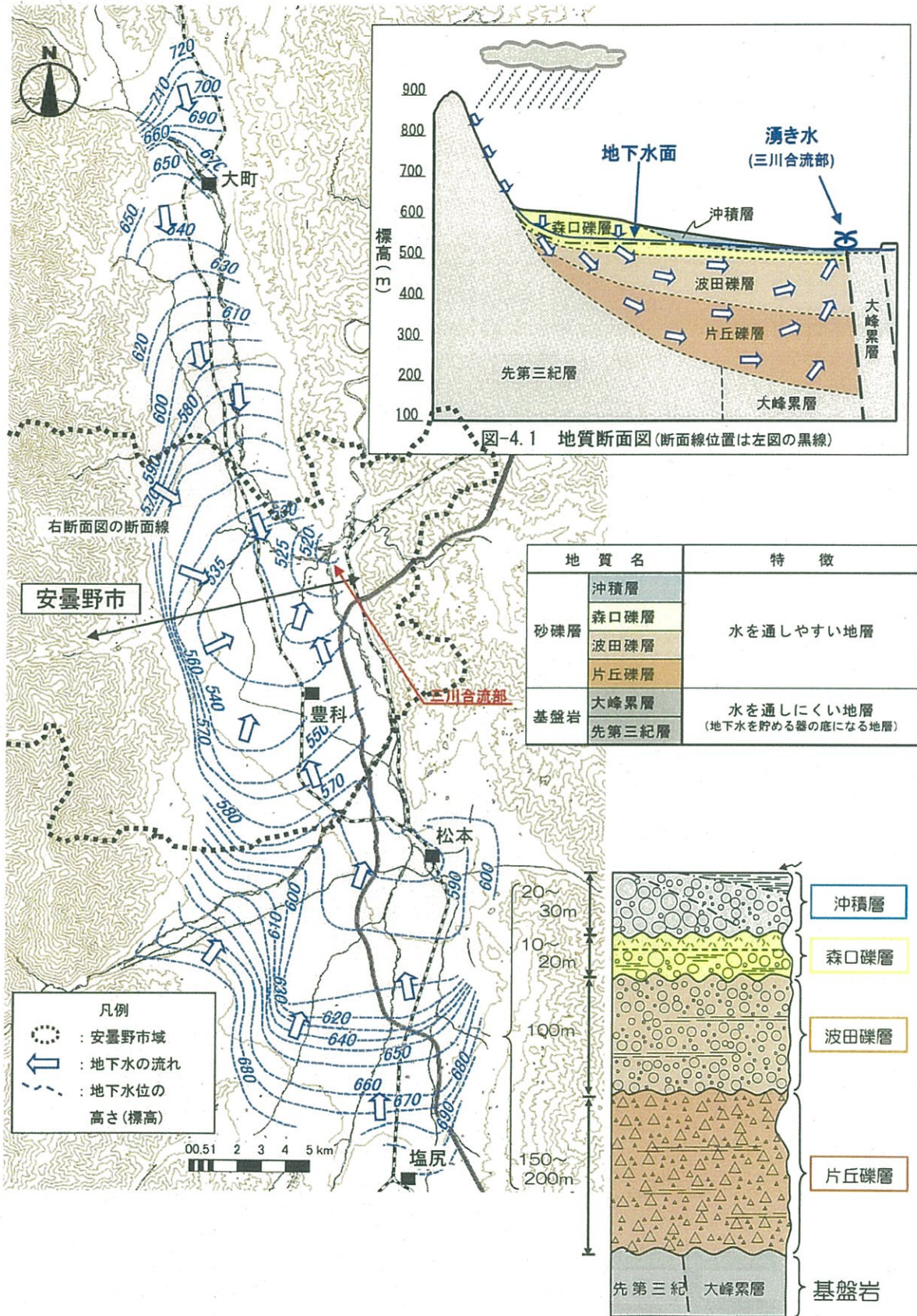
【地下水はどのようにしてできているか？】

地下水の起源は雨や雪です。雨や雪が降り、その水が山や平地の地面や、川や湖の底から少しずつ地下にしみこみます。地下にしみこまなかった雨は、川になり海や湖に流れ出ます。海や湖の水は蒸発し霧や雲になります。そして再び雨となります。これが「水の循環」です。



地下にしみた水は、石や砂のすきまを通してゆっくりと流れていきます。流れている間においしく感じる成分が溶け出します。また、土がろ紙のような役割をはたし、水の濁りや汚れを取り除いてくれます。地下水の水温は、一年中、12℃～15℃程度を保っていて冷たいです。

【安曇野市周辺の地形、地層】



【安曇野市の地下水の特徴】

1 松本盆地内の豊富な地下水

- ・松本盆地の中央に位置し、砂礫層が300m～400m 堆積しています。
- ・松本盆地の地下水の量はおよそ190億立法メートルです。(H19～22 調査)
(⇒ 安曇野市の面積から計算すると、約54億立法メートルです。)

2 豊富な湧水

- ① 昭和60年に名水百選に選定されました。「安曇野わさび田湧水群」があります。
 - ・平成7年には、「水の郷」に認定されました。
 - ・平成28年に環境省が「名水百選」の選定30周年を記念した国民参加型の人気投票「名水百選」選抜総選挙において、
 - 観光地としてすばらしい「名水」部門
 - 景観がすばらしい「名水」部門

両部門で第一位!

- ② わさび栽培、ニジマス・信州サーモンの養殖、観光資源

観光資源としての価値

生活を支える資源としての価値



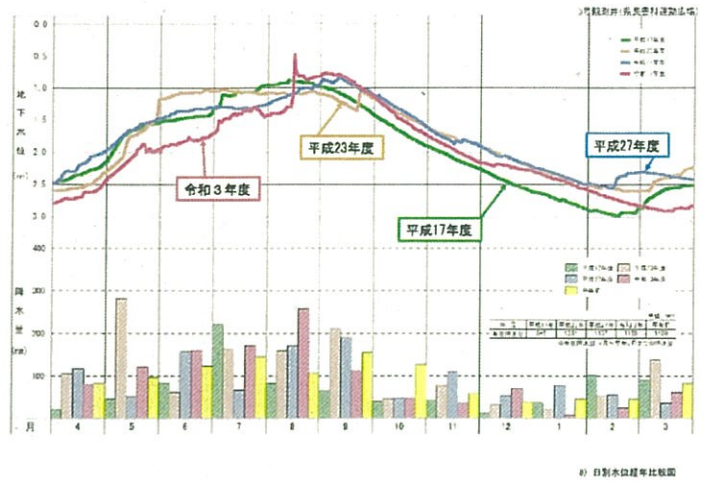
安曇野の
地下水



特産、名産品としての価値

【地下水位は、増えたり減ったり常に変動しています。】

地下水位は、常に変化しています。1年間の気候をみると、雨の少ない冬場では水位は下がり、雨が多い夏場では水位は上がります。地下水位は、長い期間をかけて、じわじわ減ったり増えたりしているため、長い期間水位を観測して調べます。また、地下水井は、水田の影響が大きく、田に水を張ることで地下水位は上がり、水を張らなくなると地下水位は下がりはじめます。



安曇野の豊富な地下水源をみることができる環境省名水百選「安曇野わさび田湧水群」の碑が立つ「憩いの広場」でも、地下水位低下の影響により、平成 18 年 2 月 11 日には、写真のように水が枯渇したことがあります。

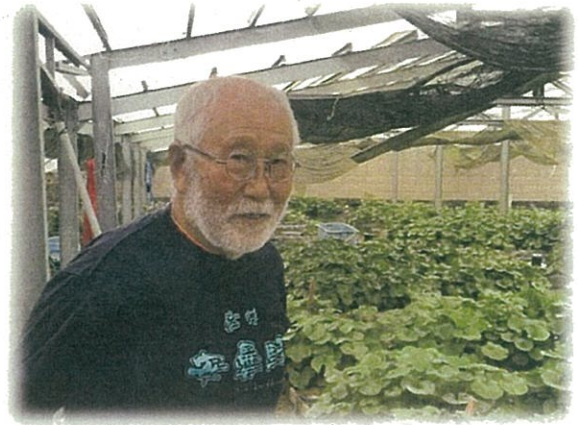


●安曇野「水めぐり」 総合案内人 等々力 秀和 さん

名水百選「安曇野わさび田湧水群」は、豊科重柳区を最上流部とし、三川合流（犀川・穂高川・高瀬川）エリアまで広がっています。

この重柳区に住む等々力さんは、昔から現在に至るまで「わさび田湧水群」について多くの方に伝えています。

地元の人しか知り得ないこと、湧水（地下水）に関する歴史について案内していただけます。



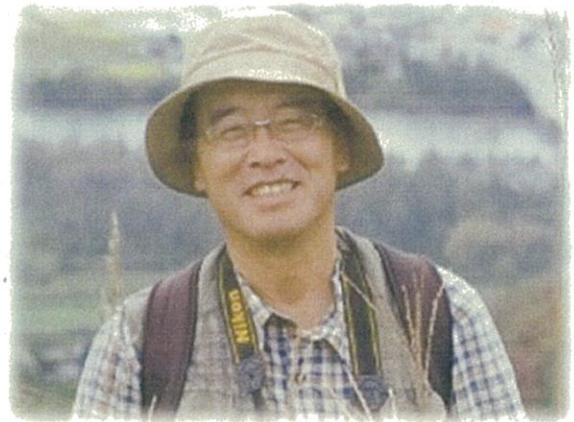
●「水中生物観察」 案内人 三郷昆虫クラブ世話人 那須野 雅好 さん

小中学生を対象とした自然観察サークル「三郷昆虫クラブ」を主宰。

絶滅危惧種状態となっている昆虫少年の復活を願い、子どもたちと野山を歩いています。

また、市天然記念物のオオルリシジミの保護、保全に力を注いでいます。

今回は、安曇野の湧水ならではの生き物の姿をご紹介します。



●わさび栽培農家 案内人 白坂 紘三郎 さん

白坂さんは、豊科と穂高地域の湧水エリアで、約5,500平方メートルのワサビ栽培をしております。

栽培ハウスに入ると、湧水の清流に育まれたワサビが一面に広がり、生き生きとしたワサビを育てています。

ワサビの根茎は、市内の直売所等に出荷されるほか、県内外にも出荷されています。





「水の郷」安曇野 ～名水の魅力～

1 「安曇野名水」の特徴



環境省認定の名水百選「安曇野わさび田湧水群」は、北アルプスからの雪解け水が伏流水となって湧き出す日量70万トンもの湧水量を誇り、真夏でも水温が15度を超えることがない清らかで豊富な水は生産量日本一を誇るわさび栽培やニジマス養殖に活用される他、観光資源として国内外から多くの方々が訪れています。また、安曇野市は国土交通省の「水の郷百選」にも認定されています。

2 五感で楽しむ「安曇野名水」



北アルプスから吹き渡るそよ風は、安曇野の地に爽やかな空気をもたらし、山々から流れ着いた清澄な雪解け水は、湧き水となって大地を潤します。ひとくちに「安曇野」といっても、その見どころは各所に点在しています。日本一の広さを誇る大王わさび農場をはじめ、国営アルプスあづみの公園で、雄大な自然を体験してみたり。古代安曇野を拓いた海の民・安曇族の祖神を祀った穂高神社や作家の想いが息づく美術館など、人々の労績の歴史を巡る旅は日ごろの忙しさをいっとき忘れさせる情緒があります。そして、名水で育まれた農水産物を食せる洗練された和食、イタリアンやフレンチのお店が充実しているのも魅力のひとつです。安曇野を彩るさまざまな風景・歴史・グルメなどを堪能しながら、心ゆくまで豊かな時間を五感で楽しんでいただけます。

3 「安曇野名水」(地下水)の飲用水のチカラ



安曇野市の水道水源は100%地下水です。

人口およそ10万人のまちの上水道が100%地下水で賄われている事実。

なぜ、地下水なのでしょう？

以下に一般的な地下水の特徴を。

そして、裏面で、安曇野市の地下水の“チカラ(魅力)”をご紹介します。

地下水の特徴

1. おいしい
2. きれい
3. 豊富
4. 水温が年間を通して一定
5. 災害(特に震災)の影響を受けにくい
6. 安価



「安曇野の水」の特徴をご紹介

安曇野

「北アルプスに育まれた 安曇野の水」の特徴

安曇野市の
水道水源は100%
地下水です。

豊富
(湧水量
日量70万t)

超
軟水
(硬度24mg/L)

安全・
安心
(毎年モニタリング実施)



※ペットボトル水は、水本来のおいしさ・風味を生かすため、特徴として「非加熱」除菌をしています。

※「北アルプスに育まれた安曇野の水」(ペットボトル水)は、安曇野市民のご家庭の水道水と同じ水です。

データ
で見る
特徴

- ①「おいしい水」の要件をすべて満たす!
- ②基本的にどこでも軟水の日本にあって安曇野の水は「超・軟水」!!

「おいしい水」の要件

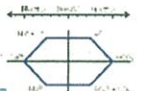
「おいしい水」の要件※を全て満たす

※1985年の厚生省(現厚生労働省)「おいしい水研究会」

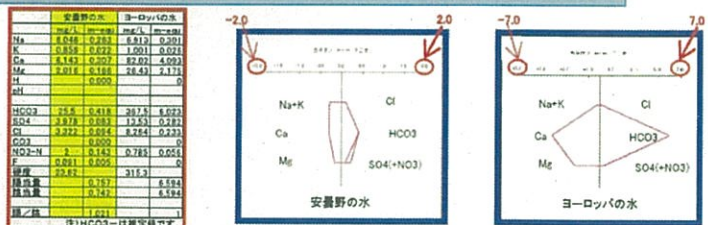
項目	要件	安曇野の水
蒸発残留物	30~200 mg/L	71
硬度	10~100 mg/L	24
遊離炭酸	3~30 mg/L	22
過マンガン酸カリウム消費量	3 mg/L以下	<0.5
臭気強度	3以下	<1
残留塩素	0.4 mg/L以下	<0.3
水温	20℃以下	14

水質の特徴(ヘキサダイアグラム)

地下水等の水質の特徴を把握する手法として、ヘキサダイアグラム(hexa diagram)を用いる方法があります。ヘキサダイアグラムとは、水に溶け込んでいる各種イオンのイオン濃度(meq/L)を水平軸にプロットし、各点を結んできた六角形の形状から、水質を分類、把握するものです(右図参照)。



「安曇野の水」とヨーロッパの水を比較してみるとどうでしょうか?



水には主にカルシウムイオンとマグネシウムイオンが含まれていて、水1000ml中に溶けているカルシウムとマグネシウムの量を表した数値を「硬度」といいます。WHO(世界保健機関)の基準では、硬度が120mg/l以下を「軟水」、120mg/l以上を「硬水」といいます。カルシウムやマグネシウムの量は旨みや口当たり、性質などにも影響します。

軟水の特徴

- 口当たりが軟らかく、まるやかで癖がないため、とても飲みやすくなっています。
- お茶やコーヒーなどを飲む際には、本来の味が出やすく、**素材そのものの味を味わいたい・生かしたい時には硬度が低いものほど適しています。**また、緑茶を入れる際には色や風味が出やすい軟水がおすすめです。
- 赤ちゃんの粉ミルクを作るときは、軟水が適しています。**軟水の中でも硬度が低いもののがおすすめです。**
- 軟水は、香りや旨み成分を引き出す効果があるため、煮炊きの多い和食に適しています。また、ご飯を炊く際も軟水はお米に水分が吸収されるため、ふっくらしたご飯が炊けます。
- 石けんや洗剤が泡立ちやすいため、洗濯などの汚れが落ちやすく、手あれもしにくいという性質があります。
★軟水は、日本人の生活に親しまれており、メリットもとても多いです★

【お問合せ】〒399-8281 長野県安曇野市豊科6000番地 Tel: 0263-71-2000 (代表)
安曇野市市民生活部環境課 FAX: 0263-72-3176
E-mail: kankyou@city.azumino.nagano.jp



安曇野「水めぐり」のアンケート結果等

●参加者 6家族（小学生：7人、保護者：8人 計15名）

●アンケート結果

【1】 イベント全体に関する感想

- ・楽しかった ・まあまあ楽しかった ・あまり楽しくなかった ・楽しくなかった。
- ＜楽しかった：6家族＞

【2】 訪問場所について

- ・良かった ・まあまあ良かった ・あまり良くなかった ・良くなかった。
- ＜良かった：6家族＞

【3】 イベント時間について

- ・長かった ・少し長かった ・ちょうど良かった ・少し短かった ・短かった
- ＜ちょうど良かった：5家族、 少し短かった：1家族＞

【4】 案内者の説明内容について

- ・良く分かった ・まあまあ分かった ・あまり分からなかった ・分からなかった
- ＜良く分かった：6家族＞

【5】 「水めぐり」の場所が変わったらまた参加してみたいですか。

- ・是非参加したい ・都合が合えば参加したい ・参加したくない。
- ＜是非参加したい：4家族 都合が合えば参加したい：2家族＞

【6】 ご意見、感想などございましたら自由に記載してください。

- ・わさびの花の咲く頃に、わさびの花摘み体験したいです。
湧水池の外来植物の草取りをして湧き水の中の作業体験も良いと思います。
- ・（安曇野が）生まれ育った所でないので、安曇野のことをあまり知らないで、よく知るいい体験となりました。
- ・安曇野に住んでいながら、湧き水のこと、わさびのこと、生き物のことについて知らないことばかりだったので、とても勉強になりました。またこのような企画があれば参加したいです。ありがとうございました。
- ・楽しかったし、楽しただけでなくたくさん体験できて、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・とても楽しかったので、半日ではなく1日でやってほしい。

R4. 10/9 12:45～ 安曇野環境フェア「安曇野『水めぐり』」状況写真

安曇野わさび田湧水群



水中生物観察会（田淵行男記念館の湧水池）





安曇野の里「水汲み場」



わさび栽培農家（白坂結三郎さん圃場）



あづみの水結のロゴマークについて

1 あづみの水結登録申込者数

8者（個人5・事業者等3）

2 あづみの水結のロゴマーク作成の目的

- ・全世代にPRをしていく。
- ・ロゴマークの幅広い活用を促し、あづみの水結の認知度を高めるとともに、安曇野市の水もPRしていく。
活用の事例としては、「お店をPRするチラシに印刷をする」、「イベント等のパンフレットに印刷をする」、「名刺に印刷をする」、「ホームページに掲載する」といった例を想定している。

3 ロゴマーク（案）について

別添資料（あづみの水結のロゴマーク（素々案））参照

別添資料

あづみの水結のロゴマーク（素々案）

A案



あづみの水結
AZUMINO MIZUYUI

安曇野の豊かな水、
木々の木漏れ日、雪な
どの自然から浮かぶ、
キラキラした光を感じる
情景をイメージして
構成

B案



あづみの水結
AZUMINO MIZUYUI

山々から望む雲海や、
安曇野市特有の霧が立
ち込める幻想的なイ
メージを和風モチーフ
で表現

C案



あづみの水結
AZUMINO MIZUYUI

「結」をテーマに、人
と自然が固く結ばれて
いる、繋がっている様
子を表現

D案



あづみの水結
AZUMINO MIZUYUI

「ミズユイ」の「ミ」
をメインモチーフに、
ゆっくり時間をかけて
地面から湧き出る水の
様子を表現

E案



あづみの水結
AZUMINO MIZUYUI

マークは水面から飛び
出る水滴を表現し、文
字部分とイメージの統
一を図ったもの

F案



あづみの水結
AZUMINO MIZUYUI

シンプルに水滴をアイ
コン化したもの。少し
ふっくらした形状にす
ることで優しい印象に
している

G案



あづみの水結
AZUMINO MIZUYUI

地面から湧き出る水
の様子と、揺れる水面
を表現。少し角ばった
マークは山を感じさせ
るデザインとしている

H案



あづみの水結
AZUMINO MIZUYUI

有明山を中心に、安曇
野らしい山々の情景を、
水面に映る山々と対象
にアイコン化し、水が
湧き出る音をイメージ
して構成